

令和8年度「化学セミナー」シラバス

科目名		必修・選択	単位数	類型
化学セミナー		選択 選択	2 2	グローバルコミュニケーション科 普通科文型
教科書 副教材等	化学基礎（数研出版） 高等学校 化学基礎 準拠 ナビゲーションノート（数研出版） つかむ化学基礎（浜島書店）			

1 学習目標

化学は、物質を学び、物質を理解する科目です。高校化学で扱う物質を理解するには、原子の構造と性質、化学結合、物質の構造、物性及び化学反応なども理解しなければなりません。

2 学習概要

化学セミナーの学習内容は、化学基礎で扱った物質（原子、分子、イオン、酸性物質、塩基性物質、酸化剤、還元剤など）について、その性質に関する理解を深めます。

化学セミナーは、主として、問題演習を通して化学基礎の理解を深めるとともに、大学入学共通テスト対策をします。

3 学習方法

化学セミナーの学習方法は、問題集を予習しておくこと。事前に指示された問題を自分なりに解いておいて、授業でポイントの解説を聞く。化学基礎は、すでに学習済みなので、問題集を解きながら、不確かな箇所を、教科書などで確認しながら解く。そして、解いた後、解説を理解するように読む。解説をしっかりと読んで、解説を理解することが大切である。以上のように取り組むと、問題集が1冊もれなく仕上がるのと同時に、化学基礎を系統的に理解することができる。自力である程度問題を解くことができるようになってから教科書を読むと、教科書の内容が良く分かる。

化学セミナーは、予習が大切。

問題集を予習する ⇒ 授業でポイント解説を聞く ⇒ 類題を解く

4 評価について

（1）評価方法

「知識・技能（①）」、「思考・判断・表現（②）」、「主体的に学習に取り組む態度（③）」の3観点で評価を行います。

具体的に評価方法以下の通りです。

- ・定期考査（中間・期末考査、学力テスト）……………①、②
- ・小テスト……………①
- ・授業に対する姿勢や態度……………②、③
- ・発問に対する発表内容……………②、③
- ・課題や提出物等の提出状況・内容・発表方法……………①、②

上記の項目を勘案し、単元及び学期、学年の評価とします。

（2）評価規準

	知識・技能（①）	思考・判断・表現（②）	主体的に学習に取り組む態度（③）
評価規準	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

5 学習計画

学期	単元名	学習のねらい（内容のまとめりごと）	考査等
一学期	化学基礎（2年次）の復習 ・物質の探究 ・物質の構成粒子	化学基礎の復習を行う。	

	・イオンとイオン結合 ・分子と共有結合 ・金属と金属結合 ・物質と化学反応式 ・酸と塩基 ・酸化還元反応		・中間考査 ・期末考査
二 学 期	<化学総復習> ・分野別問題演習 ・総合演習	問題演習を通した化学の総復習	・中間考査 ・期末考査
三 学 期	<化学総復習> ・分野別問題演習 ・総合演習	問題演習を通した化学の総復習	